レッスン：７“M”

テーマ：最も広大なヘブン（THE WIDEST OF HEAVENS）

MAC.DOC

私の兄弟・姉妹達、霊・光・火の子供達よ。

私達は主、絶対、神の聖性に常に抱かれています。

創造界には絶対存在の二つの現れがあります。一つはキリストロゴス、汎宇宙的ロゴスとしての現れ、もう一つは聖霊としてのダイナミックな現れです。これら二つの現れに先だつべきものがあるでしょうか？絶対存在の三位一体からこれら二つの現れが誕生するためには、それに先だって何が必要なのでしょうか？

これら二つの現れに先立つスパークは絶対存在から来るのであり、もっと正確に言えばそれはキリストロゴス、絶対存在のロゴス的部分から来ます。スパークは絶対存在のロゴス的局面において始まっています。私と父は一つである、という主の言葉があり、同様に、アブラハムより以前に私は存在している、と主は述べています。

スパークはキリストロゴスから来るのですが、キリストロゴスが創造界において現れるためには“大いなる母”が必要です。それは主の本質内の法則であり、それが生み出すのです。それはWidest of Heavensであり、神のエバレスキア（＊絶対存在が動き・波動・振動の状態を通じてそれ自身をそれ自身の中で表現した結果）に向かう神の黙想を引き起こすものです。創造界全体を築くために主のそれらの特質を誕生させるのは、その法則と絶対存在の質に属します。そのような質を有するこの法則がWidest of Heavensなのです。彼女（＊大いなる母、Widest of Heavens)を通じて絶対善と絶対パワーという絶対存在の二つの特質が現れ、彼女を通じて創造界が築かれるのです。

絶対善の現れとして汎宇宙的ロゴスがあり、また絶対パワーの現れとして聖霊があります。さらに、アークエンジェルの全てのオーダー（＊組織、秩序）があります。

キリストロゴスは彼女を通じて表現されますが、しかし彼女の故に主が表現されるのではありません。キリストロゴスは神の黙想と絶対存在のブレーシス（＊神の意志）の結果、現れるのです。Widest of Heavensは創造界を越えたところのものです。そうです、処女マリアはイエス・キリストロゴスを誕生させたWidest of Heavensの現れであり、汎宇宙的キリストロゴスの現れなのです。

神のアウタルキー（＊自己充足）が神のエバレスキアに変化する事実について述べる時、この表現の変化を完遂させるために何が生じるのでしょうか？

絶対存在がそれ自身の中で創造するためには、彼の本性の特質を有する、母としての属性または質が必要です。最も高い形態の黙想および最も低い形態の思考を生ぜしめるスパークは、私達の本質のロゴス的局面によるものです。このロゴス的スパークがなければ、これらのレベルのいかなるポイントにおいても動き・波動・振動はありえません。

Widest of Heavensとしての神の本質内のこの特質・属性は、数多くの教会のイコンに描かれており、彼女が宇宙を抱いているのを示しています。彼女はまた、創造界において、主の三位一体からの二元性の現れの生みの親でもあります。

Widest of Heavensは諸宇宙、全てのヘブン、さらにまた私達の大いなる兄弟（＊イエス・キリストのこと)を抱いています。なぜなら、彼女は彼の母であり、彼はしばしばイコンの中で彼女の膝に座っています。８芒星は彼女のシンボルであり、キリスト教内のみならず他の信念体系においても描かれています。あらゆる方向に回転する８芒星の中の四つの三角形にはいかなる限界もないことに気がつくでしょう。これはあらゆる方向に伸び、全創造界を抱いているWidest of Heavensを示しています。

\*Page 2

人間には、たとえそれが魂のセルフ・エピグノーシスとしての人間であっても、この８芒星に近づくことはできません。なぜなら、彼女は創造それ自体の結果ではないからです。

光に奉仕する真理の探究者は、達成しようとする奉仕活動あるいは仕事の名において様々なシンボルを使用するようになりますが、しかしシンボルとしての８芒星はその中に含まれることはないでしょう。

人間が私達の大いなる兄弟のレベルに到達できる可能性があるのと同じように、人間がWidest of Heavensのレベルに到達可能でしょうか？答えはノーです。なぜなら、彼女は諸ヘブンを越えており、彼女はLifeの世界全体およびLifeの現象界全体を有する全創造界を抱いているからです。彼女は諸宇宙全体を抱き、諸宇宙は彼女の中にあり、同時に彼女は全方向に彼女自身を現すことができます。

８芒星は彼女の現れのシンボルです。それはSpirit Being（スピリット存在）としての個別のモナドには表現不可能なものです。それは全体の属性であり、特質なのです。人間はこの属性で表現されることはありません。人間はこの属性の微小な部分としてのみ表現され、それによって人間はLifeの現象としてLifeを生み出すことができるのです。それゆえ、このようにして母、女性的側面、創造性があるのです。この創造性の現れもまた聖霊の創造の中にあるのですが、しかしそれはロゴス的および聖霊的表現の両方を、同時に同じような強さで抱くようなレベルには達していません。

今や、Widest of Heavensが実際にキリストロゴスよりも上にあるのかという疑問が生じます…なぜなら、彼女はキリストロゴスの母親だからです。三位一体、あるいは神の本質の特質内には、それよりも強いものは何も存在しません。唯一の神、それ自身の多様性を有する一つの神が存在し、キリストロゴスが聖霊を補足するのと同様に、その属性がお互いに補足しあうのです。一方が他方より強いと述べることによって誤謬を抱かないようにしてください。それらはみな、神の本質の属性であり特質なのです。

動かすもの・振動させるもの・波動を起こすものが全くなくても、動き・振動・バイブレーションがある神のアウタルキーの中では、それらの質は現れていません。それらの特質と現れの意味は、神の外側ではなく神の内側で生じている神の聖なる黙想の純粋なる結果なのです。従って、神の黙想のある部分は他の部分より上であると言うことは不可能です。

Widest of Heavensは絶対存在の本質に含まれる法則としての質であり、それは神の聖なる黙想の結果として神自身の中に誕生するものです。

マインドもまた、神のアウタルキーが神のエバレスキアに変化する…（この時点から、全てはマインドであり、マインドによる、マインドの異なったバイブレーションです）…以前においてさえ、法則として、神の存在の中にある原因なのです。

私達は、無からは何も現れず、何も顕現しない、ということを覚えておく必要があります。神のエバレスキアの結果として現れたものは全て、属性としてであろうと、特質としてであろうと、さらには法則としてであろうと、それは神の存在の中にあるのです。

より明確にするために、属性(attribute)と特質(characteristic)と法則(Law)の違いを簡単に分けてみましょう。特質は神の本質の結果であり、同時に私達はまた特定の特質の属性を有することもできます。将来、これらについてもっと詳しく述べることにします。

先に述べたように、Widest of Heavensは諸宇宙全体を抱き、私達が学ぶうえで二つの局面から彼女にアプローチすることができます：一つは、神のエバレスキアを越えたところの絶対存在の本質に含まれる法則としての質として、二つ目は、現れとして（私達がWidest of Heavensについて学ぶ際の諸世界の現れ。諸世界が私達をWidest of Heavensへと導く）。創造の諸世界の中でWidest of Heavensの現れについて学び、定義するためには、マインドの波動を使う必要があります。私達がどのような方法でこのリアリティーにアプローチするにせよ、それは難しい概念です。キリストロゴスと聖霊の現れに先だって、彼女は創造の諸世界を越えた所でWidest of Heavensとして現れます…それによってキリストロゴスと聖霊が現れるために。イエスキリストの現れが三次元の世界で顕現されるためにさえ、処女マリアとしてのwidest of Heavensが必要なのです。

Widest of Heavensはロゴス的状態と聖霊的状態の両方を同じように包含しています。なぜなら、両方ともその現れは彼女を通じてなされているからです。唯一彼女を通じて、神の三位一体のこれら両方の表現が神のエバレスキアを通じて現れるのです。彼女は全てを生み出し、とりわけ彼女は神の三位一体から絶対存在の二つの特質、つまり絶対善・絶対パワーを生み出すのです。

絶対善は汎宇宙的キリストロゴスを通じて、およびイエス・キリストロゴスから現れ、絶対パワーは様々なアークエンジェルのオーダーを通じて、聖霊的表現として現れています。そして人間は出産することができるので…たとえ、人間が現すものが彼女のほんの微小な部分に過ぎないにしても…Widest of Heavensは人間の中にも現されていると見なすことができるでしょうか？三次元の世界にいる人間は出産することができます。その目的はただ一つ、種の継続を維持するためにその種を生産することです。Widest of Heavensが生み出すものと比較すると、それは完全に異なっており、スケールも全く違うので、比較をしようとすることすらできません。

人間はロゴス的および聖霊的な存在ですが、無知の中に取り込まれている結果、実存の諸世界においてLifeの現象としての自己のセルフ・エピグノーシスを表現するためには、特別なプロセスを経る必要があります。

この特別なプロセスの体験を可能とするために、人間に適正な居住環境、創造界が与えられています。

宇宙はキリストロゴス絶対存在の“Christotita”で満ちています。このスパークの結果が、動き-創造としての神の本質からの法則なのです。それはWidest of Heavens、大いなる母であり、超意識ではなく“Consciousness”、つまり絶対存在の絶対意識の部分である聖なる絶対意識なのです。大いなる母として、彼女は神の特質を完全に有しています。彼女は神の本質そのものを有しており、今や創造界全体を現わし、スタートさせる属性なのです。彼女は諸宇宙全体を包含し、彼女を通じて汎宇宙的キリストロゴスと聖霊が誕生します。マクロコスモス（大宇宙）として彼女は汎宇宙的現れであり、神の特質の中の何かとしてでなく、神の本質の中にあってマクロコスモスという結果的属性を有しているのです。この属性を通じて彼女は現されています。この属性がマクロコスモスとして現されると、その両手として汎宇宙的キリストロゴスと聖霊を持つのです。

これらのリアリティーは難しい概念であり、私達は全員時間を費やすべきです。

私達は常に神、絶対、神の聖性に抱かれています。

EREVNA MAC7/ENM/DOC/2/09/4 7M/3END